

韓国 の 近代史

영정시대[英正時代](1724年~1800年)

정조(正祖・イサン)とその祖父영조[英祖]の時代。外戚や党派の争いをなくして、文治主義による王権の確立を目標とし、実学も発達。정약용[丁若鏞]、열하일기[熱河日記]を書いた박지원[朴趾源]等の優れた実学者を輩出。



영조



정순왕후



정조



정약용

正祖は天主教に比較的寛容であった。正祖の死後貞純王后(1801年~)は、政敵が天主教信者に多くみられることから、これを強硬に弾圧。(ドラマ:イ・산이산) 요순시대堯舜時代も忘れずにね!!

空白の 80 年(1800年~1863年)

幼い純祖が即位すると安東金氏による세도정치勢道政治が始まる。実学者・天主教(キリスト教)を弾圧。国政は乱れ民は困窮、民のことなど考えなかった。国政の私物化が進み李氏朝鮮の衰退を招いた。



순조[純祖]



현종[顯宗]



철종[哲宗]

흥선 대원군[興宣大院君]第 1 次(1864年~1873年)

- 李氏朝鮮第 26 代国王高宗[고종]の実父で朝鮮の国政を司る。
- ①外戚の専横排除に関連した古い体制打破を目的とした、具体的には有能な人材の登用(外戚安東金氏一族を排除)
 - ②官制改革の実施、小作人制度の撤廃による農地の平等分与などを旨す
 - ③対外的には、徹底した鎖国攘夷政策を推進
 - ④天主教弾圧



경복궁[景福宮]再建の為、特別税を賦課し使役労働もさせたため庶民の不満が募る。
→高宗の親政が始まると王妃閔氏の一族に権力を奪れた。



미스터 션샤인
미리얼 - 미주
최성준 - 최정현
영길터 - 영주
1871년 6월 10일 (고종 8년)

(드라마: دکتر지진 Dr.JIN)
(드라마: 미스터·산샤인 미스터 션샤인)



척화비 [斥和碑]

辛未洋擾後、1871年大院君政權（第一次）によって李氏朝鮮全土に建てられた鎖国政策維持の固い意志を示した石碑。1882年9月、閔氏政權に対する「旧軍」兵士の反乱から起こった壬午軍乱が清国軍の興宣大院君拉致によって終結すると、大院君の子息で朝鮮王の高宗は教書をくだし、開国・開化を国是とすること、邪教は退けるが西洋の技術や制度は学ぶべきことを明示し、斥和碑の撤去を命じた。約30基の遺物が確認されている。

양이침범 비전즉화 주화매국
洋夷侵犯 非戰則和 主和売国

(洋夷侵犯するに戦いを非とするは則ち和なり。和を主するは売国なり)



책봉冊封とは？ そして 정한론 征韓論

明・清と朝鮮王朝の関係は、欧米諸国の植民地政策とは違い、朝鮮の内政干渉せず、王位に就く際、明明・清の許可책봉 [冊封] 体制を取っていたが、の国から광해군 [光海君] が책봉 [冊封] されなかった事は、ドラマにも良く登場する。

책봉 [冊封] 体制

江戸時代後期

古代日本が朝鮮半島に主権を持っていたと『古事記』・『日本書紀』に記述されていると主張
(国学や水戸学の一部や吉田松陰ら)

「皇上」、「奉勅」は、清の皇帝のみ使う言葉なのになぜ日本が？

明治新政府→朝鮮

朝鮮へ王政復古を通知する外交文書を送るが、朝鮮の朝廷は受け取りを拒否。

何度か使節を派遣するも国交断絶の強硬姿勢を示したため、**征韓論**がおこる。

⇒内治派 (岩倉など)・征韓論派 (西郷など) との対朝鮮政策はそれほど違いはない。



西郷は、自らが大使となり交渉することを主張

共通
武力に依って朝鮮に開国を求める

明治6年の政変(1873年)

欧米を視察した洋行組(岩倉使節団)は、国力の違いを見て、内政の充実と国力が第一で、朝鮮への出兵は時期尚早と主張。征韓論派は、参議などを辞職。

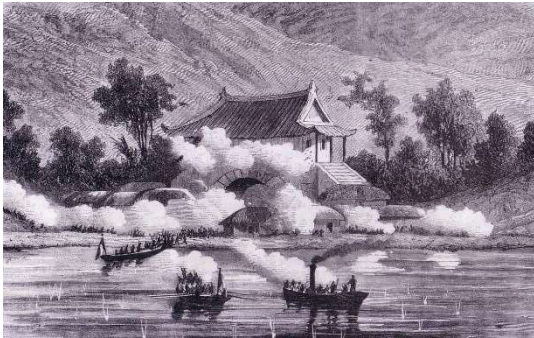
제너럴셔먼호 사건 ジェネラル・シャーマン号事件(1866年7月)

アメリカ合衆国の商船
ジェネラル・シャーマン号が李氏朝鮮後期の 양각도[羊角島] (北朝鮮・平壤) に来航した際に起きた一連の事件。朝鮮との通商を求めて 대동강[大同江]を廻り、 양각도[羊角島]にまで到達し略奪などを行ったため、平安道觀察史・박규수[朴珪寿] (朴趾源の孫)の指揮により朝鮮軍が攻撃し、同船の船員が全員死亡。 辛未洋擾勃発の原因となる。

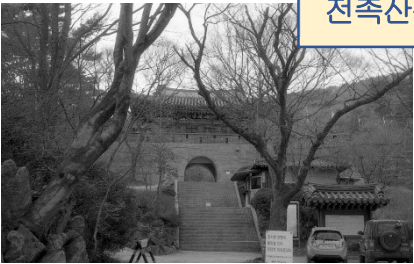


병인양요[丙寅洋擾] (1866年9月～11月)

フランス人宣教師の処刑 (丙寅教獄) を契機として、李氏朝鮮とフランス第二帝国との間で発生した戦い。문수산성[文殊山城]の戦いと전족산성[鼎足山城] (=삼랑산성[三郎山城])の戦いに勝利した朝鮮軍側の優位に進み、フランス軍は大きく装備に劣る軍隊によって数倍の損害を与えられ最終的にフランス軍は敗走した。興宣大院君による孤立主義・排外主義に正当性を与える戦いとなり、孤立路線は10年後に結ばれる日朝修好条規締結まで続いた。また自国が植民地獲得競争の標的となっている事を自覚する機会を逸してしまった。



전족산성[鼎足山城]

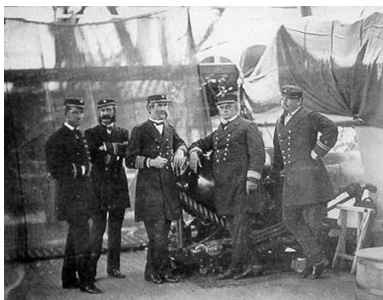


문수산성[文殊山城]



신미양요[辛未洋擾] (1871年)

清に駐在していたアメリカ公使のフレドリック・ローは、シャーマン号事件への謝罪と通商を求めてアジア艦隊に朝鮮派遣を命じた。同年4月、アメリカのアジア艦隊司令官ジョン・ロジャーズは長崎で5隻からなる艦隊を編成し江華島に向かった。朝鮮側の攻撃は、ほとんど米艦隊に損害を与えることができなかったが、米軍は何故か15名の死者を出した。米軍の攻撃により朝鮮国軍は240名以上の戦死者を出すこととなった。アメリカは戦闘には勝利したが、清に撤退→朝廷の攘夷傾向更に強まる



(ドラマ: ミスター・サンシャイン 미스터 션샤인)

高宗の親政開始と明成皇后(1873年～)

1866年に閔妃(明成皇后)が王妃として王宮へ入ると、大院君は閔妃と対立を始め、閔妃を中心とした閔氏一族と崔益鉉らの儒者勢力、政敵安東金氏の勢力を中心に、大院君排除のための動きを見せていた。これらの勢力が結託し、1873年、高宗が成人すると親政を宣言し、최익현[崔益鉉]の弾劾を機に大院君は追放される。



최익현 崔益鉉

(ドラマ: ミスター・サンシャイン ミスター 선샤인)
(ドラマ: 濟衆院 제중원)



강화도 사건 江華島事件(1875年)

朝鮮西岸海域を測量中の日本の軍艦雲揚号が、江華島、永宗島砲台と交戦した。日本側の軍艦の名を取って운요호 사건[雲揚号事件]とも呼ばれる。日朝修好条規締結(1876年2月)の契機となった。

→朝鮮に渡った日本人商人の大半が、朝鮮に差別意識を持ち、傍若無人なふるまいが朝鮮民衆の反日感情を強める結果となった。



日朝修好条規／江華島条約 조일수호조규/강화도 조약

1. 外交使節の首都派遣
2. 釜山ほか二港の開港と自由貿易
3. 開港場における居留地の設定
4. 領事による居留民の管理
5. 開港場における領事裁判権
6. 朝鮮沿海の測量・海図作成の権利
7. 開港場から四キロ以内への内地旅行、通商権
8. 開港場における日本通貨の使用
9. 朝鮮からの米穀輸出の自由
10. 輸出入税の免除(無関税)

임오군란 壬午軍亂(1882年)

朝鮮国王高宗の王妃明成皇后を中心とする閔氏政権は、開国後、日本の支援のもと開化政策を進め、近代的軍隊として「別技軍」を新設し、日本人教官を招致して教練を開始した。財政出費がかさんで旧軍兵士への俸給が滞ったことと、「別技軍」に対する不満・反発が反乱のきっかけとなった。それに民衆も加わって閔氏一族の屋敷や官庁、日本公使館を襲撃し、朝鮮政府高官、日本人軍事顧問、日本公使館員らを殺害した。



反乱軍は閔氏政権を倒し、興宣大院君を担ぎ出して大院君政権が再び復活したが、清軍により拉致され中国の天津に連行された。



日本は乱後、閔氏政権と交渉して濟物浦条約 [濟物浦条約] を締結し、賠償金の支払い、公使館護衛のための日本軍駐留などを認めさせた。

清国に対していっそう従属の度を強める一方、朝鮮における親日勢力は大きく後退した。



홍계훈 [洪啓勳] は、明成皇后を背負って宮中を脱出して宮中を出たことで、のちに高官になった。



(ドラマ: 緑豆の花 녹두꽃)

갑신 정변 甲申 政變(1884年)

事大党

清の冊封国としての立場の維持に重きをおいて 事大交隣を主義とする守旧派

開化派

朝鮮の近代化を目指し、清朝間の宗属関係に依拠せず打破して独立近代国家の形成を図る

12月4日夕方の우정국 [郵政局] 落成式에 민영익 [閔泳翊] (守旧派)가 重傷を負ったのはドラマ『濟衆院』にも登場する。

김옥균 [金玉均] · 박영효 [朴泳孝] · 서재필 [徐載弼] 等 開化派独立党が、清国に依存しようとする守旧派を追い出して開化政権を樹立しようと日本公使館の援助を得て武力クーデターを起こした。



1000 を超える清国兵が王宮に攻め込み、王宮は清国に制圧。少数の日本兵では敵うわけもなく日本公使館に避難しますが、清国兵や暴徒による攻撃を受け、竹添公使は自ら公使館に火を放ち、仁川に避一部

の民間人も殺害されるなどした。

悪化した朝鮮人に襲撃され陥落。日本人は容赦なく襲われ、甲申事変に関係ない民間人もこの時に多く殺された。清国は朝鮮の内政にも干渉するようになる。



日本の伊藤博文と清の李鴻章は中国の天津で会談し、翌年の1885年に天津条約を締結した。



(ドラマ：濟衆院 제중원)

- ①日本と清国の関係はさらに悪化
- ②東学農民戦争(1894年)
- ③日清戦争(1894年)
- ④閔妃暗殺(1895年)と続く

この時代の両班たちの考え

衛正斥邪
甲午改革反対論
断髮令拒否
攘夷
朝鮮王朝は両班が作った

최익현 崔益鉉



조병갑 趙秉甲

탐관오리 貪官汚吏

1892년 고부 군수 재직 중 농민들을 강제로 동원해 만석보를 쌓았다. 그는 이곳의 물을 받는 논에 첫해에는 수세를 물리지 않겠다는 약속을 어기고 이를 징수하였다. 약속을 어긴 것에 격분한 농민들은 1894년 1월 관아를 습격하고 헐어버렸다. 조병갑이 모친상을 당하고 부조금으로 2000냥을 거둬오라는 요구에, 전창혁이(전봉준의 아버지) 이에 마을 대표로 나서다가 조병갑은 전창혁에게 곤장형을 가하여 때려죽였다.

고부[古阜] 관아[官衙] 부조금[扶助金] 전창혁[全彰赫] 곤장형[棍杖刑]

만석보 萬石湫



새야 새야 파랑새야

새야 새야 파랑새야	녹두 밭에 앓지 마라
녹두 꽃이 떨어지면	청포장수 울고 간다
새야 새야 파랑새야	우리 논에 앓지 마라
새야 새야 파랑새야	우리 밭에 앓지 마라
아랫녘 새는 아래로 가고	윗녘 새는 위로 가고
새야 새야 파랑새야	우리 밭에 앓지 마라
새야 새야 파랑새야	녹두 밭에 앓지 마라
새야 새야 파랑새야	우리 밭에 앓지 마라
새야 새야 파랑새야	녹두 꽃이 떨어지면
새야 새야 파랑새야	우리 밭에 앓지 마라

새야 새야 파랑새야 (청나라 군대, 일본군)

녹두밭에 앓지 마라 (농민군을 잡지마라)

녹두 꽃이 떨어지면 (전봉준이 사망하면)

청포 장수 울고 간다 (우리 백성이 슬퍼한다)

청포[淸泡] 綠豆の粉をゼリー状に煮固めた食品(녹두묵)